

地域の防犯活動に尽力

第39回地域安全茨城県民大会が10月10日(火)、県立県民文化センターで開催され、笠間市防犯連絡員協議会の皆さんが表彰を受けました。防犯功労者表彰を髙野健一さん(稲田)が、地域安全功労者表彰を海老澤勉さん(平町)、大關久義さん(下郷)が、優良防犯連絡員表彰を大月英明さん(箱田)、長谷川正徳さん(本戸)、佐藤治さん(友部駅前)、篠崎真一郎さん(安居)がそれぞれ受賞しました。

また、団体では第二東宝ランド防犯パトロール隊(菅谷榮会長)が地域安全功労防犯ボランティア団体表彰を受賞しました。



第二東宝ランド防犯パトロール隊の皆さん 山口市長(中央)と笠間市防犯連絡員協議会の皆さん



伐採された木を運ぶボランティア

地域の安全のために

市と災害協定を結んでいる笠間市電設業協議会(7社)が10月28日(土)、地域の安全確保を願い、ボランティアで笠間地区の公民館敷地から道路にはみ出していた枝の伐採を行いました。

伐採が行われた公民館は、大橋、池野辺、本戸、来栖、南山内の5カ所。当日は、同協議会の皆さんのほか、各地区の公民館長や市民の方々に協力いただきました。市でも今後、市民の安全性が確保できるよう、できる限りの対策を講じていきます。

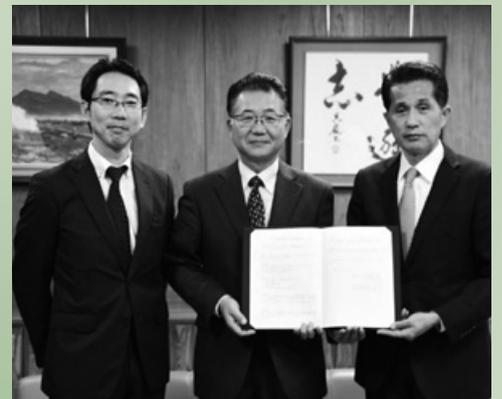
笠間ゴルフ倶楽部と災害時支援協定を締結

笠間市と笠間ゴルフ倶楽部株式会社(池野辺)は、「災害時支援協力に関する協定」を10月11日(水)に締結しました。

今回の協定により、地震や風水害などの大規模災害の発生時に、被災者の一時的な避難場所として利用できるほか、飲料水、食事、浴場の提供を受けることが可能となります。

市は、市内のゴルフ場と災害時支援協定を締結するのは2例目であり、特に、浴場を提供していただけることは、被災者の疲労回復など到大変重要です。

市では、今後も多様な民間企業や団体との災害支援協定の締結を進め、災害時における被災者支援を充実していきます。



スターツコーポレーション(株)の仲田さん、笠間ゴルフ倶楽部(株)の吉沢さん、山口市長(左から)



メッセージを描いた土のう袋を手にした子どもたち

被災地に思い届け!土のう袋を送るプロジェクト

茨城県内では、災害時の応急対策に使う「土のう袋」をキャンバスにして、被災地の方に励ましのメッセージや絵を描き送る活動、「被災地へ土のう袋を送るプロジェクト」が広がっています。

10月28日(土)に笠間中学校で行われた文化祭のなかで、同プロジェクト活動が行われ、中学生の発表を見に来ていた小学生たちが、土のう袋に被災地に対するメッセージを一生懸命描いていました。また、笠間中学校では2年生が中心となって、このプロジェクト活動に参加しました。

まちの話題

エチオピアに水槽付消防ポンプ自動車を贈呈

市は以前から交流のあるエチオピア連邦民主共和国に11月3日（金）、NPO法人エチオピアの未来の子供（ガライヤ理事長）を通じて水槽付消防ポンプ自動車を寄贈しました。

5年前にも市は消防ポンプ自動車を寄贈しています。来日して35年になる市内在住の陶芸家、ガライヤ理事長が立役者となり、笠間とエチオピアの交流のきっかけを作りました。笠間市消防本部で開かれた贈呈式には、チャム駐日エチオピア全権大使も出席しました。

市長は「これからも、さまざまな分野で協力できれば」と話し、チャム全権大使は、「笠間は自分の家に来ているようです。市にはとても感謝しています」と語りました。



チャム全権大使（前列左から3人目）らが出席した贈呈式

頭と足腰軽やかにスクエアステップ

笠間市スクエアステップリーダー会主催の第7回笠間市スクエアステップサークル交流会が9月26日（火）、市民体育館で開かれました。

スクエアステップは、^{おおくらともひろ}大藏倫博さん（筑波大学准教授）が考案した25cm四方のマスの上を決められたパターンで踏んでいく運動で、パターンを覚えてステップを踏むことで認知症予防や筋力の強化を図っていくものです。

交流会には、市内各地域で活動しているサークル35団体から約430名が参加し、筑波大学大藏研究室の協力のもと、スクエアステップやダンベル体操を行いながら親交を深めました。



ステップを踏む参加者の皆さん

総合防災訓練を実施しました

災害による被害を最小限に抑え、緊急時の対策を確認するため、10月28日（土）に笠間市総合防災訓練を実施しました。

訓練の想定は、大雨の中、震度6クラスの地震が発生したというもので、たくさんの不確定情報が飛び交う中で、情報整理をどうしたらよいか、急な情報に対応できるかなど課題を持って取り組みました。災害対策本部には避難所開設状況や市内の被害状況、電車の運行状況、さらには東海第二発電所の状況などが報告され、それぞれの役割の中でやるべきこと、報告することを確認し合いました。

市では、これからもいろいろな角度から最善の方法を確認して、有事に備えています。

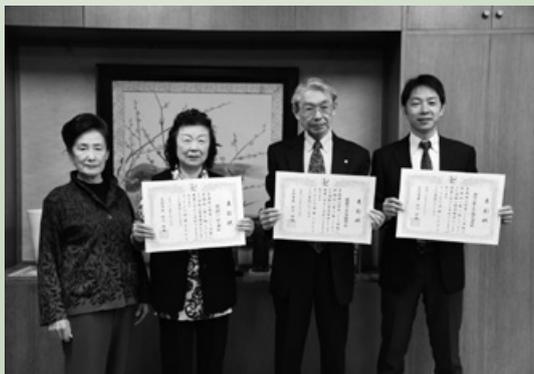


災害対策本部訓練の様子

健康づくりで1企業2団体を表彰

市では、自主的に健康づくりのための活動を継続的に行う企業や団体に対し、健康づくり表彰を行っています。平成29年度は企業部門にキャノンモールド株式会社、団体部門に城南ラジオ体操会と笠間一球会が選ばれ、11月6日（月）に表彰式を行いました。

各受賞者は、「社員間のコミュニケーションを図ることができるようになった」「地域のつながりが強化できた」「活動を通して楽しみながら健康づくりを行っている」などと話し、健康を保つことで前向きに生活できるようになったなどの効果を挙げました。



笠間一球会の青木さん、中村さん、城南ラジオ体操会の廣瀬さん、キャノンモールド株の古川さん（左から）



救助訓練の様子

防災ヘリも出動 岩間消防署山岳救助訓練

岩間消防署と茨城県防災航空隊が連携し、10月26日(木)、岩間地区上郷の愛宕山山道付近で、山岳救助訓練を行いました。これまで20年以上毎年山岳救助訓練をしていますが、今年は、初めて防災ヘリを実際に出動させ、山中の負傷者を県立中央病院へ搬送するまでを実施しました。

現場は、足場がぬかるんだ狭い山道での救助を想定したもので、ヘリの強烈な風圧にさらされながらも指示命令等も的確に行われ、状況の伝達方法や救助器具の使用方法など一つ一つ確認し合いました。

秋篠宮殿下が笠間市の農業をご視察

10月19日(木)、秋篠宮殿下が公益財団法人日本農会の総裁として、茨城県内の優良農家等を訪れ、本市では有限会社ナガタフーズ(福島)と茨城県農業総合センター(安居)をご視察になりました。

(有)ナガタフーズのダイコン加工工場内では、ダイコンをつまにする機械にご興味をもたれたり、皮はどのように活用されるのかご質問になったりしながら経営発展の経過をご視察され、県農業総合センターでは、梨の県オリジナル品種

開発の状況や高度新栽培技術などについて説明を受けられた後、育種について専門的にご質問をなされていました。

(有)ナガタフーズの永田良夫社長は「大変農業にお詳しく、楽しんで工場を見ていただきました」と話しました。



(有)ナガタフーズご視察の様子



茨城県農業総合センターご視察の様子

スポーツファイル

第29回笠間市綱引き大会最強チーム決定戦 [10月21日(土) 友部公民館体育室]

●小学生の部

優勝 友部ソフトボール
スポーツ少年団
準優勝 友部相撲少年団

●中学男子の部

優勝 ウフフ私たちカップメン
ホットメン乙女
準優勝 宍戸族

●中学女子の部

優勝 STTV4211
準優勝 友部アマゾネス軍団

第12回市民剣道大会(市長杯・議長杯争奪剣道大会)、兼茨城県スポーツ少年団交流大会笠間市代表選考会)

10月9日(月祝) 友部高等学校体育館

市内の4団体と4中学校の選手121名が出場しました。結果は、次の通りです。

試合結果 (◎印は茨城県スポーツ少年団交流大会笠間市代表選手)

基本の部	優勝	友部 律子	直心館飯島道場	小学生 高学年 女子の部	優勝	深作 真美◎	岩間剣友会
	2位	友部 郁子	直心館飯島道場		2位	永井 花歩◎	岩間剣友会
	3位	高安 恵輔	直心館飯島道場		3位	市川 瑩	直心館飯島道場
	3位	高安 眺輔	直心館飯島道場	3位	打越瑞娃乃◎	友部剣友会	
小学生 低学年の部	優勝	浅野 栄翔◎	岩間剣友会	中学生 男子の部	優勝	古川 遥也◎	友部中
	2位	松崎 椋	岩間剣友会		2位	鶴田 尚也◎	友部中
	3位	深作 涼太	直心館飯島道場		3位	入江真太郎◎	友部中
	3位	小林 駿仁	直心館飯島道場	3位	大竹 涼馬	友部中	
小学生 高学年 男子の部	優勝	小林 孟司◎	直心館飯島道場	中学生 女子の部	優勝	生駒たまを◎	岩間中
	2位	中根 有悟◎	直心館飯島道場		2位	府川明日香◎	友部二中
	3位	藤岡 楽空	友部剣友会		3位	野中 悠那◎	岩間中
	3位	菊田 悠斗	直心館飯島道場	3位	古澤 花梨	友部二中	
	3位	臼井 遥斗	直心館飯島道場	高校生 一般の部	優勝	桃園 太輔	茨城大学
					2位	小島 匠未	土浦工業高校
			3位		宗像 貴大	水戸第一高校	
			3位	中庭 諒太	水戸啓明高校		

まちの話題

人権擁護委員の改選と感謝状の授与

本年9月30日の任期満了に伴い、笠間市人権擁護委員を退任された久保田運平さん(安居)は、平成17年10月1日から12年間人権擁護委員としてご活躍し、その多大なる功績により法務大臣から感謝状が授与されました。

また、10月1日付の改選で、平澤浩子さん(下郷)が再任され、畠山好文さん(下郷)が新たに任命されました。

退任された久保田さん



笠間市・郵便局 包括連携協力に関する協定締結式



田中大町郵便局長、山口市長、田原笠間郵便局長(左から)

市と郵便局が市民生活向上に連携強化

笠間市はこれまで、郵便局と災害時における協力や災害による道路損傷箇所および不法投棄などの情報提供、高齢者の徘徊を含めた見守りなど、さまざまな連携協定を締結して、市民生活を向上させるための取り組みを行っています。

さらに今回、社会問題化する空家に関する情報提供を盛り込んだ「包括連携協定」を締結しました。この連携強化に市長は、「笠間市でも空家の対応が大きな課題の一つ。市と郵便局の連携強化を図り、空家情報が提供されることで課題解決につながってほしい」と期待を込めて話しました。

大沢さんが馬術で2連覇

10月26日(木)に開かれた、全日本総合馬術ジュニアライダー選手権で、昨年に続き優勝した大沢暁音さんが市を表敬訪問しました。

大会には、大沢さんと同じ年のトイボーイⅢ(大沢さんの馬)とともに挑み、2連覇の快挙を達成。昨年よりも一層凛々しい姿を見せてくれました。現在、大沢さんは高校3年生でジュニア部門での出場ですが、来年からは大学生となり、ヤング部門に挑戦します。

市長は「大学生になってもどんどん上を目指して行ってほしい」と激励しました。



馬上でメダルを手にする大沢さん

詩吟日本一姉妹誕生

岡山県で10月22日(日)に開催された第26回全国吟剣詩舞コンクール決勝大会で、大嶋知葉さん(笠間中3年)と希海さん(笠間小5年)の姉妹が、少年の部と幼年の部でともに優勝。2人の師匠である常磐流吟道総師範の祖母恵子さんとともに市を訪れ、結果を報告しました。

詩吟を始めたのは、知葉さんが6歳、希海さんが7歳から。2人はこれまでも数々の大会に出場し、多くの賞を受賞してきました。市長は2人に対し「笠間は今、スポーツでも大活躍している人が多く出ています。今回、日本の伝統芸能である詩吟で日本一に輝いたことは本当に素晴らしく、誇りに思います。今後ますますその道を極めて行ってほしい」とエールを送りました。



笑顔で優勝を報告した希海さんと知葉さん(左から)